



# 福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375  
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：大野順道 ■幹事：金子親房
- 会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：穴戸清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

## 第22回例会

平成25年12月11日(水) サンパレス福島

■会員/73名 ■出席/43名 ■出席率/58.90% ■メイクアップ/30名 ■修正/73名 ■修正率/100.00%

### 本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 ロータリー財団セミナー報告
- 4 クラブ年次総会  
次年度役員、理事発表
- 5 閉会点鐘

### 会員の広場

次年度の役員・理事に会報委員会の副委員長 佐藤朋也会員が会員増強委員長に、委員の吉田仁一会員がクラブ広報・雑誌委員長になりました。次年度の高橋勇雄会長と幹事の吉田和義氏を支援して会報委員会で学んだ事を実践し即戦力になって欲しいと思います。

### 今日の一面記事

福島第一原発での事故発生後、放射線量が年間積算線量二〇ミリシーベルト (mSv) に達する恐れがあるとされながら、避難指示区域には指定されなかった福島県飯館村で、村民が県発表の倍近く初期被曝していた疑いが浮上した。原発の安全性を説く御用学者による「安全講演」が、無用の住民被曝を招いたとの指摘が出ている。(12/10ライブドア)

## ◆会長あいさつ◆ 大野 順道 会長



みなさん、こんにちは。11月20日、台風26号による伊豆大島災害義捐金を例会で募り、63,500円の浄財が集まり、クラブの資金と合わせて10万円を、三浦さんから直接、川島 理史東京都大島町長に送って頂きました。お礼のメールと写真が届きましたのでご報告致します。また、12月8日の日曜日大声杯の決勝戦が荒川運動公園で行われました。高橋会長エレクト、吉田次期幹事始め6名が参加して参りました。来週、廣澤社会奉仕委員長に詳しく報告して頂きます。

庭の紅葉や桜の葉がすべて落ちてしまいました。掃除が大変楽になりました。

「裏を見せ表を見せて散る紅葉」とは、江戸時代の和尚である良寛さんの晩年の句です。良寛さんは自分で「和尚でもなく、俗人でもない」と言っており、お酒を好み、タバコもたしなんでいたそうです。ここだけは、まるで私のお酒のようですね。晩年には、40も歳の離れた若い尼僧、貞心尼と恋に落ちています。

良寛さんは本音で行動し、あっけらかんと生きた人です。自分の表ばかり見せたがり、裏は隠してしまう人が多いものですが、良寛さんは、どちらを見せても良寛さんそのものです。そう言えば今、廣澤俊樹社会奉仕委員長は、伯父様の葬儀で新潟の長岡に行かれています。良寛さんのお墓は長岡の隆泉寺にあります。

今日は、クラブ年次総会です。次年度役員、理事発表があります。高橋勇雄会長エレクトにお願い申し上げます。高橋勇雄会長エレクトにお願い申し上げます。

## ◆ロータリー財団セミナー報告◆

### 穴戸 英男ロータリー財団委員長

12月7日10:30より、郡山市 南東北総合卸センター協同組合会館イベントホールに於いて、地区役員33名、クラブ会員88名合わせて121名出席のもと、地区ロータリー財団補助金管理セミナーが開催され、黒羽副会長と共に出席いたしました。



## ◆クラブ年次総会◆ 次年度役員、理事発表

### 高橋 勇雄会長エレクト

クラブ定款第六条・第二節及びクラブ細則第3条理事および役員選挙により当選しました次期役員と理事をご紹介します。



会長 高橋勇雄

### 会長エレクト 菅原 節子



副会長 金子 親房



### 副会長 穴戸 英男



直前会長 大野 順道

### 幹事 吉田 和義



副幹事松崎 弘昭

### 会計 小柴 幸夫



会員増強委員長  
佐藤 朋也

### 親睦活動委員長 渡辺 雅浩



クラブ広報・雑誌  
委員長  
吉田 仁一

### クラブ会報委員長 伊藤 弘子



### 職業奉仕委員長 一條 浩孝



### 社会奉仕委員長 黒羽 好夫



### 国際奉仕委員長 伊藤 紘一



会場監督 廣澤 俊樹  
新世代奉仕委員長 本田 光男  
ロータリー財団委員長 佐久間 功  
一編集後記一

大野会長より、「坦板漢」についての「説法」がありました。来年はひとの長所・良いところを認めることにより、さらに「好意と友情を深め」てゆきたいと思っております。良いお年を！ (さとう)